



「平和の火」がともるト一チを掲げて走る木暮純太さん(左)＝朝日町月山で

「反核・平和の火」駆ける

8/4 北中 県内リレー、朝日町を出発

戦争のない社会の実現を訴える「反核・平和の火リレー」が三日、朝日町役場前を出発した。六日までの四日間、約二百人の走者が県内全十五市町村、約二百キロを走る。

日本青年学生平和友好祭実行委員会主催。自治体や企業の労働組合の若手組合員らが毎年、広島・平和記念公園から採火した「平和の火」をリレーしながら各自自治体をめぐり、核兵器廃絶などを国に働き掛けるよう求めている。

同町役場前での出発式では、大橋篤志副実行委員長が「今、戦後の

安全保障政策が変わってしまつかもしれない状況にある。反核・平和をより強くアピールしたい」とあいさつ。

第一走者で町職員の木暮純太さんが、「平和の火」がともるト一チを掲げ、次の入善町役場に向けて走り出した。(伊東浩一)



8/5 北中 「平和の火」をリレー
県庁前公園で集会

第29回県反核・平和の火リレーの集会が4日、県庁前公園で開かれ、参加者が平和の大切さを訴えた。

日本青年学生平和友好祭実行委員会(上田歩仁委員長)

集会では上田委員長が「反核・平和運動を積極的にアピールしていきたい」とあいさつし、山崎議長と社民党県連副代表の岡崎信也県議、佐々木悟県職員労働組合執行委員長が激励。広島平和記念公園の「平和の火」から受け継いだ火を次の走者につないだ。

平和を願う「平和の火」を次の走者につなぐ参加者＝県庁前公園

- 緊急文書
動員要請書
お願ひします
です
の動員
の動員
の動員
の動員
の動員
- 7(金) 8の日行動
・街宣と参加者
全員でスタンディング
・AM 7:00 富山・高田・魚津
- 9(日) 憲法講演会
AM 9:30 滑川市民
交流プラザ
PM 2:00 氷見水産センター

10日(月) 川内原発再稼働
折紙集会・デモ
PM 6:15 cic前広場

もう2度と戦争はしない
——これが憲法の原点です!